



# 決算説明補足資料

2020年11月期 第3四半期



株式会社ラクト・ジャパン



1 連結業績概要 P.3

2 事業別売上高推移 P.4

3 事業別取扱い数量推移 P.5

4 連結貸借対照表 P.6

参考資料（為替リスクについて） P.7

# 1. 連結業績概要

(単位：百万円)

	2019.11期 3Q	2020.11期 3Q		
		実績	増減額	増減率 (%)
売上高	87,536	85,064	△2,471	△2.8
経常利益	2,086	2,208	121	5.8
売上高経常利益率 (%)	2.4	2.6	-	-
(経常利益に含まれる為替影響額※)	△26	△4	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,490	1,607	117	7.9
売上高当期純利益率 (%)	1.7	1.9	-	-
1株当たり四半期純利益 (円)	151.94	163.39	11.45	
為替レート (円/USD)	109.71	107.97	△1.74	
為替レート (円/EURO)	123.73	120.52	△3.21	

(注) 財務数値の表示は端数切捨て。

※ 経常利益に含まれる為替影響額：当社は為替予約の会計処理について原則的な方法を採用しており、各利益段階において為替変動による影響を受けることがあります。仕入計上がされているものの、売上計上時期が翌四半期に行われた場合には、営業外収益に為替差損益のみが先行して計上され経常利益に反映されることがあります。

## 2. 事業別売上高推移

(単位：百万円)

	2019.11期				2020.11期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>乳原料・チーズ</b>	21,109	21,566	22,119	20,411	20,061	19,866	19,997
前年同四半期比(%)	△3.9	△1.3	1.2	4.0	△5.0	△7.9	△9.6
<b>食肉加工品</b>	2,941	3,162	3,187	2,988	2,900	3,206	2,674
前年同四半期比(%)	△11.8	△3.6	6.6	0.7	△1.4	1.4	△16.1
<b>アジア (乳原料販売)</b>	2,992	4,310	3,709	5,013	4,411	5,726	3,614
前年同四半期比(%)	△12.9	11.5	18.6	20.9	47.4	32.8	△2.6
<b>アジア (チーズ製造販売)</b>	658	626	679	687	680	672	683
前年同四半期比(%)	31.9	25.7	22.5	21.7	3.3	7.3	0.7
<b>その他</b>	183	160	128	157	167	218	182
前年同四半期比(%)	△15.1	△26.9	△48.2	△19.2	△8.8	36.3	42.2
<b>売上高合計</b>	27,886	29,826	29,823	29,258	28,221	29,690	27,152
前年同四半期比(%)	△5.3	0.4	3.6	6.4	1.2	△0.5	△9.0

(数値の表示は端数切捨て)

### 3. 事業別取扱い数量推移

(単位：MT)

	2019.11期				2020.11期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>乳原料・チーズ</b>	49,784	50,354	52,814	51,152	49,413	48,880	47,240
前年同四半期比(%)	△7.0	△0.6	5.3	15.9	△0.7	△2.9	△10.6
<b>食肉加工品</b>	4,985	5,525	5,806	5,214	5,220	6,232	4,690
前年同四半期比(%)	△13.9	△0.9	13.0	2.4	4.7	12.8	△19.2
<b>アジア (乳原料販売)</b>	11,298	16,593	13,853	18,179	14,676	20,244	13,360
前年同四半期比(%)	△5.7	14.8	15.7	26.1	29.9	22.0	△3.6
<b>アジア (チーズ製造販売)</b>	874	930	928	1,004	1,014	969	965
前年同四半期比(%)	35.8	43.9	40.6	39.9	16.0	4.2	4.0

(数値の表示は端数切捨て)

## 4. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019.11期末	2020.8月末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>45,774</b>	<b>43,075</b>	<b>△2,699</b>
現金及び預金	4,474	5,683	1,208
受取手形及び売掛金	17,852	13,813	△4,039
棚卸資産	22,946	23,108	161
流動資産その他	501	471	△30
<b>固定資産</b>	<b>2,360</b>	<b>2,579</b>	<b>219</b>
有形固定資産	568	679	110
無形固定資産	29	23	△5
投資その他の資産	1,761	1,877	115
<b>資産合計</b>	<b>48,134</b>	<b>45,655</b>	<b>△2,479</b>
買掛金	12,649	9,724	△2,924
有利子負債	17,641	17,295	△345
負債その他	1,879	1,373	△506
<b>負債合計</b>	<b>32,170</b>	<b>28,393</b>	<b>△3,776</b>
<b>純資産</b>	<b>15,964</b>	<b>17,261</b>	<b>1,297</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>48,134</b>	<b>45,655</b>	<b>△2,479</b>

### 主な増減要因

#### 受取手形及び売掛金の減少

#### 買掛金の減少

期末休日要因<sup>(※)</sup>および、コロナ禍による販売の減少。

※2019.11期は期末日（11月末日）が休日だったため売掛金の回収が今期にずれ込んだ影響があった一方、第3四半期末（8月末日）は平日であったことにより売掛金が減少。

(財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載)





**当社は基本的に為替リスクを負わないビジネスモデル。**

海外仕入先との外貨建て仕入契約締結と同時に、国内顧客と円貨の販売契約を締結。  
その際、仕入外貨額に対する為替予約をすることで為替リスクをヘッジしている。

**但し、当社は会計処理基準における原則法を採用しているため、会計上の表示が特徴的。**

**売上総利益と営業外損益（為替差損益）の表示に常に影響。**

---

**決算期末をまたぐ取引（翌期以降に販売）は期間損益の表示に影響が発生。**

---

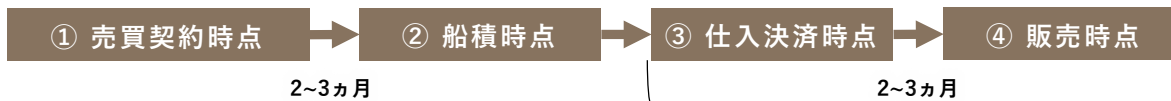
## □ 表示の特徴

取引の段階に応じて、計上に使用する為替レートが異なるため、取引の途中段階において、為替差損益が生じる。  
最終的には当初の為替レートにより計上された売上・売上原価になるので実質的な利益に影響はないが、  
売上計上前の取引の途中段階においては

- ① 売上総利益と営業外損益の表示に影響するほか、
- ② 計上が期間をまたがることにより、期間損益に影響する。



## 為替レートが変動しても、実質的な利益には影響しない



処理	① 売買取引時点	② 船積時点	③ 仕入決済時点	④ 販売時点
	<b>為替予約（①時点レート）</b> ※同時期に行う処理 ・仕入先と外貨建て契約 ・販売先と円建て契約 =実質的な利益確定	<b>仕入計上</b> =実勢為替レート (②時点レート)	<b>①と②時点の 為替変動差を 為替差損益 として計上</b>	<b>売上計上</b> (①時点で契約した 円建金額)

**取引終了時(④まで終了)**  
 ④の販売まで終了した時点では、①～④時点の処理が通算され、①時点の**実質的利益及び実質的原価と同額が会計上も計上**される。

**取引が途中で決算をむかえた場合**  
 ③時点と④時点の間に期末をむかえた場合、先行して、為替差損益(営業外)が計上される。



**③時点では為替差益が営業外利益として先行して計上。**  
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が高くなるため



**③時点では為替差損が営業外損失として先行して計上。**  
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が安くなるため

## ご注意事項

本資料には、当社の戦略や見通しなど将来の業績に関する記述が含まれております。これらは現時点における当社の判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。経営環境の変化など、さまざまな要因により変更されることがあります。あらかじめご了承ください。